

～最年長・ベテラン選手特集～

今回はチームの柱であり、チームには欠かせない
最年長・ベテラン選手に着目した

(※広島東洋カープはCS中のため取材が出来ませんでした。前号のテーマの記事を掲載させていただきます)



サンフレッチェ広島

リーグ優勝・日本代表経験のあるベテラン選手に迫る

今回は、ともに日本代表経験があり、長年に渡ってサンフレッチェ広島を支えてきたチーム最年長の林 卓人 (ハヤシ タクト) 選手、ベテランの青山 敏弘(アオヤマ トシヒロ)選手の二選手に取材を行った。

林卓人選手

Q、サンフレッチェに所属して今まで嬉しかったこと、苦しかったことを教えてください。

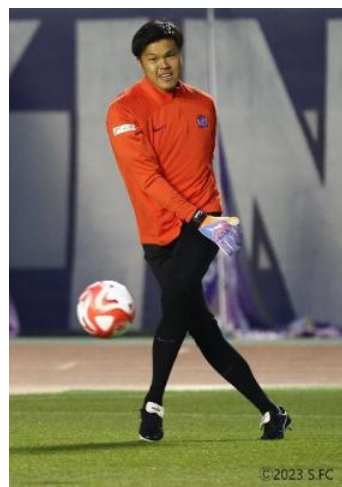
A、嬉しかったのはタイトルを獲れたこと。苦しかったのはケガをした時です。

Q、サンフレッチェ広島の良さとは何か教えてください。

A、プロサッカー選手である前に社会人として人間性が一人前であること。

Q、リーグ優勝をご経験されていますが、再びリーグ優勝するために必要なことは何か教えてください。

A、とにかくやり続けること。



©2023 S.F.C

青山敏弘選手



©2023 S.F.C

Q、サンフレッチェに所属して今まで一番嬉しかったこと、苦しかったことを教えてください。

A、一番嬉しかったのは、2012年のリーグ初優勝の時。

苦しかったのは、2017年のJ1残留争いの時です。

Q、サンフレッチェ広島の良さとは何か教えてください。

A、「サンフレッチェ広島はこういうチームだね」というのが、みんなで分かり合えていること。

Q、リーグ優勝をご経験されていますが、再びリーグ優勝するために必要なことは何か教えてください。

A、毎試合、ホームで満員のスタジアムでプレーすること。

二選手はリーグ優勝など、多くの栄光をサンフレッチェ広島にもたらした。その背中を見て若手選手も躍動している。多くの歴史を作ってきたエディオンスタジアムでの試合も終了した。来シーズンからホームスタジアムとなる「エディオンピースウイング広島」にも多くの観客に足を運んでいただきたい。（楠本海斗）



朝山正悟選手に聞く！今年の広島ドラゴンフライズ

今回の記事では、チームの柱であり、今シーズン限りで現役を引退することとなった朝山 正悟（アサヤマ ショウゴ）選手にインタビューに答えていただいた。

Q、朝山正悟選手から見たチームの雰囲気はどうか。

A、チームメイトみんながまとまっており、いい雰囲気です。

Q、一番印象に残っている試合はありますか。また、どのようなプレーが印象に残りましたか。

A、過去に所属したチームの時、初めて天皇杯で優勝を体感した時です。

Q、チーム内外で一番仲の良い選手は誰ですか。

A、チームの選手たちみんなが弟みたいで仲が良いです。

Q、これからのチームの未来を担うキーマンを教えてください！

A、寺嶋良選手です。日本代表にも選出されて、バスケット界を引っ張っていく存在だと思います。

Q、チームの一番好きなところを教えてください。

A、あったかい雰囲気でお互いを尊敬し合いながら、切磋琢磨できているところです。



朝山正悟選手

2015 年から広島ドラゴンフライズを支えた大ベテラン。今シーズン限りでそのユニフォームを脱ぐこととなるが、彼がドラゴンフライズに残してくれたものは、確実にこれからのドラゴンフライズに受け継がれ、財産となっていくことだろう。彼のこれからの動向に注目である。（井上弥春）



広島ガスバドミントン部 熟練者が見る景色とは

夏も終わり、だんだんと肌寒くなる季節。そんな寒さも吹き飛ばし、今日も活躍する広島ガスバドミントン部。そんな彼女たちの中には頼れるベテラン・最年長選手たちがいる。

今回は背番号4番小田 菜摘（オダ ナツミ）主将、背番号5番山藤 千彩（ヤマフジ チサ）選手の二名に取材を行った。（以下、小田選手→小田、山藤選手→山藤）

Q、最年長・ベテランとして意識していることはありますか。

A、小田：バドミントンのことだけではなくて、年下の選手の状況だったり心境だったりを考えて、何かあれば声をかけて話を聞くように心がけています。

山藤：声をかけてチームを盛り上げることや練習への取り組み方などで引っ張って、手本になれるように意識しています。

Q、自分自身のことでプロになった時と今で変わったことはありますか。

A、小田：入社してすぐの頃は自分のことに精一杯で、チームのことは全くといっていいほど考えたことはありませんでした。今はチームのために自分が何をすべきなのか、自分の姿がチームに繋がるという、チーム主体で物事を考えることが増えたように思います。



小田菜摘選手

山藤：今は、周りを引っ張るという立場になりました。また、6年目となり様々なことを経験し、入社してすぐの当時よりコート外での行動、練習や試合での考え方・取り組み方が変わりました。

Q、自分以外のことでプロになった時と今で変わったことはありますか。

A、小田：入社した頃に比べると、練習時間が増え、バドミントンにかけられる時間が増えました。バドミントンにしっかり集中できるように会社の方々がより良い環境を提供してくださるのですごく有り難いことだと思っています。

山藤：練習時間が増えたこと、部員数も増えたことです。

Q、最後にこれからの活動への意気込みをお願いします。

A、小田：チームの中で1番ベテランになり、本年度からは主将も務めています。

自分のためにというのはもちろん、チームのため、会社のためという気持ちが年々強くなってきました。たくさん応援していただいているこの感謝の気持ちを私達は結果で返すことが大事だと思っています。結果にこだわり、毎日、当たり前のことを当たり前にする、ということを大切に成長していきたいと思っています。

山藤：S/J リーグでは、チーム目標としているトップ4進出を達成できるようにチーム一丸となって頑張ります。どの立場でもチームに貢献できるように最後まで戦い抜きます。応援してくださる皆さまと勝利の喜びを分かち合えるよう、一つ一つの試合を勝ちにこだわり、そして、広島県を盛り上げられるよう精一杯頑張ります！

自分のことだけでなく、チームのことも考えながら動く、当たり前のようで難しいことをする彼女たちの背中には頼もしい。これからも小田選手、山藤選手、そして広島ガスバドミントン部の活躍から目が離せない！

(佐々木奏人)



山藤千彩選手



ベテランの苦労と経験

今回は、チームのベテラン・最年長選手にインタビューということで安芸高田ワクナガハンドボールクラブに所属するGK伊藤 浩太郎（イトウ コウタロウ）選手に取材を行った。伊藤選手は今シーズンで11年目を迎える選手です。



伊藤浩太郎選手

伊藤選手は「今までプレーして大変だったこと、苦労した経験」という質問に対し、「下積み時代が長く、試合に出られるようになるまで6年くらいかかった。今では、その経験が力になっているが、その時は精神的に辛かった。」と言っていた。下積み時代にあきらめずに努力してきた結果が11年プレーできている偉大さだと感じた。

伊藤選手はベテランとして、常にチームの若い選手から見られているという意識を持つこと、多く口に出さないこと、いざ頼られたときにアドバイスができるように常に準備をすることを心掛けているそうだ。このような意識が良いチームを作り上げていくのだと感じた。

最後に、安芸高田ワクナガハンドボールクラブの良さと強みについて聞いた。良さは若い選手が多く、ベテラン若手、分け隔てなく会話ができてところ、強みは堅守からの速攻だと言っていた。スピーディーな攻撃を展開するなか、相手のシュートをブロックし、チームに流れを引き寄せる GK 伊藤選手にこれからも注目していきたい。そして、ハンドボールを続けてもらいたい。

(田川大樹)



イズミメイプルレッズ

イズミメイプルレッズの年長組選手にインタビュー

今回は、チーム最年長の石川 紗衣（イシカワ サエ）選手、一個下の三橋 未来（ミツハシ ミキ）選手、近藤 万春（コンドウ マサル）選手の年長組三選手にチームの雰囲気と今シーズンの意気込みを伺った。

一人目は、No.3 石川紗衣選手

Q、『年長組から見たチームの雰囲気』と『今シーズンの意気込み』

A、「上から下まで仲が良く意見交換も活発に行われいい雰囲気です。今シーズンは昨シーズンの悔しい思いを全てぶつけます！」



石川紗衣選手

二人目は、No.17 三橋未来選手

Q、『年長組から見たチームの雰囲気』と『今シーズンの意気込み』

三橋：「現在メイプルは若い選手が多く在籍しています。今シーズン酒巻監督が就任し、今までにないハンドボール、習慣にもチャレンジして、今シーズン闘う準備をしてきました。若手が多いメイプルレッズですが、コートに立てば歳の差関係なく、自分のやりたいこと、強みを生かしチームのために身体を張ってくれます。そんな姿に私ももっともっと頑張らないといけない。と思わせてくれる後輩達です。チーム層的に若い分経験値もなく、まだまだ未熟ですが、シーズンを過ごす中で一つ一つの試合を積み重ね成長するメイプルレッズの今シーズンの闘いをお楽しみください!!」



三橋未来選手

三人目は、No.21 近藤万春選手

Q、『年長組から見たチームの雰囲気』と『今シーズンの意気込み』

近藤：「良い意味で上下関係なく、すごく明るくて元気なチーム。監督はこのチームを新しいハンドボールスタイルにチャレンジさせてくれ、全員にチャンスを与える。酒巻監督がメイプルに来て良かったと思えるようなシーズンにしたい。一年目から絶対結果を出したい。」



近藤万春選手

三選手がチームの雰囲気と意気込みを強く語ってくれた。プレーオフを目指す新体制となったイズミメイプルレッズに期待したい。
(中谷拓斗)



NTT WEST

NTT 西日本ブルーブランド

NTT 西日本ブルーブランドのベテラン選手に迫る！

今回の記事で紹介する選手は、長江 光一（ナガエ コウイチ）選手だ。長江選手は、今年度の全日本社会人選手権大会で二位、全日本実業団や国民体育大会では優勝を果たしている。今回は、そんな長江選手にベテランならではの取材を行った。

Q, ベテラン選手としてどんな事を意識して取り組んでいるかについて教えてください。

A, 若手選手がやりやすい環境作りです。チームの大半が20代中盤なので、ここが元気でハツラツとしていることがチームの活気に繋がってくると考えています。そのために叱ることもあります。ベースとして若手選手の良いところを伸ばすためのポジティブな声掛けや、良い言動やプレーには積極的に褒めることを日頃から意識しています。またコート外でも固定メンバーだけではなく、全員と交流することがチームの一体感が出るように心がけています。



長江光一選手

Q, これまで大変だったことについて教えてください。

A, コロナ禍に大会がなくなり、チーム全体の士気が下がったことです。その中で、自分たちがスポーツをする意味を問いてみたり、他の競技のアスリートについて勉強会をしたり、テニスから離れてフィジカルをみんなで鍛えたりしました。出口が見えない中、もがき苦しんだ事が今のいい結果に繋がっているのかもしれない。

Q, 自分が一番成長できた事について教えてください。

A, 「人間力」です。選手としても、コーチとしても沢山の経験をさせて頂いています。多くの失敗もしましたが、その度に壁を越えていくことの大切さを学んでいます。更に人間力を上げていけるように色々なことに挑戦していきたいと思います。

NTT 西日本ブルーランツの選手には、これからも長江選手を中心に大いに活躍してもらいたい。

(渡部泰聖)

中国電力 陸上競技部

中国電力陸上競技部

中国電力陸上競技部を引っ張る最年長、岡本直己選手！

今回は、中国電力陸上競技部の最年長・ベテラン選手である、岡本 直己(オカモト ナオキ)選手にインタビューを行った。



岡本直己選手

Q, ベテランとしてどのような事を意識して取り組んでいますか。

A, 年齢による体力の衰えは仕方がないと思うので、今までの経験値を活かし、今の身体でのベストな練習を考えています。年齢でレースを諦めるのではなく、レースを走る限りは、常に優勝を思い浮かべてスタートします。この二点で後輩たちの手本になると思い、行動しています。

Q, これまで陸上競技をしてきて大変だったことを教えてください。

A, 基本オフシーズンがないので、あまり休みがないことです。私が専門にしている長距離はトラックレース、クロスカントリー、駅伝、マラソンがあり、一年中試合があります。また、技術ではなく体力の競技なので、休んだら休んだ分能力が落ちるので、怪我明けなどで走ると、普通の人になってしまいます。常に練習と大会なので、どんなに暑くても、雨の日や雪の日になっても練習があることも大変なことの一つです。

Q、陸上競技をしてきて成長できたと思うことは何ですか。

A、タイムや順位でははっきりと結果がわかってしまう競技なので、言い訳が通用しないことを学びました。練習は苦しいことが多いですが、苦しみが大きければ大きいほどより達成感、成長を感じられます。

今回は、岡本選手のベテランならではの悩みや強みについて、知ることができた。これからも中国電力陸上競技部を引っ張って行ってほしい。
(福井飛我)



ヴィクトワール広島を支えるベテラン選手に迫る！

今回の記事では、ヴィクトワール広島を実力だけではなく、チームメンバーの心の支えになっているベテラン選手について紹介していく。

今回はチームの中でも経験豊富な最年長選手の吉本 哲郎（ヨシモト テツロウ）選手（44）にインタビューを行った。吉本選手は現役の競輪選手であり、2004年に全日本自転車競技選手権でスプリント二位という成績を残している。

Q、ベテラン選手として意識していることはありますか。

A、年齢のせいにはしないこと！限界と思わず常に前向きに練習をしようと心がけています！

Q、いままでで一番大変だったことを教えてください。

A、大変だったと思うことは、一つ一つの事を楽しむことができているから特にないです！

Q、自身が一番成長できたと思う出来事を教えてください。

A、怪我（頸椎、骨盤、鎖骨、肋骨などの骨折）から復帰して、強い選手達と対等に走り勝てたときです！その勝利によって自分の練習に自信ができました！



吉本哲郎選手

今回はヴィクトワール広島のベテラン選手にインタビューを行った。インタビューを通して吉本選手が、ここまで長く自転車競技に対して情熱を注ぐことができるのは自転車競技を純粋に楽しむことができているからだということが分かった。これからも、吉本選手にはヴィクトワール広島を支える存在として、より一層活躍し、チームを支えてもらいたい。
(板金祐也)



「チームの為に」 チームを引っ張るベテラン選手

今回の記事では、コカ・コーラレッドスパークスのベテラン選手について紹介していく。

今回はチームの中でも、経験豊富なベテラン選手である金藤 祥子（カネフジ ショウコ）選手にインタビューを行った。

Q、今までで一番苦労したことは何ですか。

A、怪我との向き合い方。

理由：昨年足の手術をしましたが復帰まで予定よりも時間がかかりました。ホッケーができない期間がとても辛く、気持ちのコントロールに苦労しました。



金藤祥子選手

Q、最年長・ベテラン選手として心がけていることは何ですか。

A、「チームの為」という気持ちを忘れないこと

理由：ホッケーに取り組む姿勢やホッケー以外での行動や発言など、チームに良い影響を与えられるようにと常に意識しています。

Q、これからの目標は何ですか。

A、昨日の自分を超え続ける

理由：もっともっと上手くなりたいので、日々のトレーニングから若いチームメイトたちに負けないように全力で頑張ります。あとは誰よりもホッケーを楽しみたいです！

今回はコカ・コーラレッドスパークスのベテラン選手にインタビューを行った。インタビューを通して金藤選手のホッケーに対する姿勢や情熱、周りの選手に対する思いというのが分かった。これからも、金藤選手にはチームを支える存在としてより一層活躍してもらいたい。
(二宮涼楓)



JT サンダーズ広島の大黒柱 最年長の安永拓弥選手

今回の JT サンダーズ広島のトップスニュースは、チーム最年長の安永 拓弥（ヤスナガ タクヤ）選手に取材を行った。



安永拓弥選手

Q、ベテランとしてどのようなことを意識していますか。

A、身体のケアを人一倍する。後輩たちに見られていると常に意識し、練習や私生活でも示しがつくようにしている。

Q、JT サンダーズ広島に入ってよかったと感じる部分はどこですか。

A、スポーツ熱がとても強い県なので注目度も高く、すごく応援されているのでやり甲斐がとてもある。

Q、これまでバレーボールをしていて大変だったことを教えてください。

A、バレーボール自体のレベルが年々上がってきているので、それに対応していかないといけないのが大変です。

Q、バレーボールを通じて一番成長できたと思うことは何ですか。

A、ダメな時にどうするかを考えられるようになったこと。またあきらめないことの大切さを学べている。

安永選手へのインタビューは以上となる。安永選手や JT サンダーズ広島の活躍に期待する。
(高橋陸)



広島東洋カープ選手がプロ野球選手になってなかったら？

プロ野球は、日本シリーズで阪神が4勝3敗とオリックスを下し38年ぶりの日本一となった。

広島東洋カープ

我がカープも来シーズン日本一になるべく、宮崎県日南市で秋季キャンプを行っているところだ。

新井監督に代わって二年目の来シーズンは日本一も十分に期待していいだろう。今回は『プロ野球選手になっていなかったら何をしていたか。』について書いていく。

まずは、背番号 12 の大道 温貴（オオミチ ハルキ）投手だ。大道投手は父親がテニスのコーチをしていたこともあり、プロ野球選手になっていなかったら、プロテニスプレーヤーを目指したそう。また、生まれてすぐの時からラケットを持っていたり、小さい頃はよくテニスをしていたという。おそらくテニスの腕前も一流なのだろう。



大道温貴選手



末包昇大選手

次に紹介する選手は、背番号 52 の末包 昇大（スエカネ ショウタ）選手だ。末包選手はプロ野球選手になっていなかったら、一流のサラリーマンを目指したそう。その理由は、サラリーマン漫画でおなじみの島耕作さんに憧れていたからだそう。また、他にやりたいスポーツは、みちのくプロレスと、どれも末包選手がやっている姿が想像できる職業であった。

最後に紹介するのは、背番号 20 の栗林 良吏（クリバヤシ リョウジ）投手だ。栗林投手はプロ野球選手になっていなかったら、消防士を目指したそう。理由は、安定しているしかっこいいからで、将来の夢を聞かれたときにプロ野球選手というのが恥ずかしかったことから、みんなに応援してもらえそうな消防士と答えていたそう。そんな栗林投手には、来シーズン、火消しの場面での登板や、クローザーの定位置の奪取に期待したい。また、他のやりたいスポーツはサッカーだという。



栗林良吏選手

来シーズンこそはリーグ優勝、日本一をとれるよう、カープ選手たちの躍動に期待したい。（塩崎智也）

編集 広島経済大学興動館 スポーツによる地域活性化プロジェクト

スポーツを通じた社会貢献

賛助会員 募集中

スポーツを通じた社会貢献活動への 貴社・団体様の参画！

温かいご支援の一つひとつが、夢と潤いのある「スポーツ王国ひろしま」への力となります。スポーツを通じた社会貢献へ継続的に寄与していくため、当NPO法人の事業目的に賛同し、活動を支援して下さる賛助会員を募集しています。多くの皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けてまいりたいと存じます。お力添えくださいますよう、心からお願い申し上げます。

■年会費(企業・団体様)

一口**50,000円**(何口でも可)

■振込先

広島銀行 本店営業部

口座名

特定非営利活動法人 広島トップススポーツクラブネットワーク

理事長 松田 真二

口座番号: 普通預金 2774313

ご支援いただいている賛助会員様

青山商事株式会社(洋服の青山)
RCC中国放送
株式会社RCC文化センター
学校法人石田学園 広島経済大学
有限会社伊藤久芳堂
株式会社インパルスコーポレーション
株式会社NTTドコモ 中国支社
株式会社大野石油店
オタフクソース株式会社
広島建設株式会社 中国支社
広島建物総合管理株式会社 中国支社
株式会社共立
株式会社桐原容器工業所
呉市
呉バレーボール協会
JAグループ広島
シンコースポーツ中国株式会社
セキスイハイム中四国株式会社 広島支店
医療法人せのがわ
株式会社体育社
竹原市
株式会社千鳥
中国ジェイアールバス株式会社
株式会社中国新聞アド
株式会社中国新聞社
中国総合信用株式会社
中国労働金庫 広島県営業本部
つばめ交通株式会社
TSSテレビ新広島
友鉄ホールディングス株式会社

ドリームベッド株式会社
西日本旅客鉄道株式会社 広島支社
株式会社日本トリム 広島支社
株式会社日本旅行 中国営業部
橋本燃料株式会社
株式会社ひろぎんホールディングス
株式会社広島朝日広告社
広島菅公学生服株式会社
広島県
広島市
広島信用金庫
広島テレビ放送
広島ホームテレビ
株式会社ヒロタニ
ヒロマツホールディングス株式会社
公益財団法人福山市スポーツ協会
平安堂梅坪(田中電機工業G)
株式会社ボブラ
特定非営利活動法人ボラーノ
前田食品(マリーナロッジBIGFLAG)
マツダ株式会社
株式会社マリーナホッププロパティ
ミサワホーム中国株式会社
株式会社メディカルイン
株式会社モルテン広島・四国支店
有限会社安田損害サービス
株式会社有文社
株式会社ユニサス
株式会社良和ハウス
株式会社ルネサンス

(50音順 / 2023年10月末時点)

トップス広島支援自販機 オーナー募集中!!

トップス広島では、支援自販機を設置させていただき、売上の一部をトップス広島の支援金とさせていただきます。「トップス広島支援自販機オーナー」を募集しております。



目的 売上金収入により活動の拡大を図り、さらなる「スポーツを通じた社会貢献」に寄与する。

対象 トップス広島、および広島のスポーツを応援していただける企業・団体・一般の方。

※ロケーション、採算性等の条件により設置いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

支援自販機について、詳しくは下記までお問い合わせください。

広島市のふるさと納税寄付金を活用した、当法人へのご支援について



私たちの名前=トップス広島

正式名称:NPO法人広島トップススポーツクラブネットワーク

「広島」という一つの「すそ野」を持ついくつかのトップススポーツクラブがネットワークをつくり、広島のスポーツ全体を盛り上げていきたいという願いを込めました。「トップス広島」の名前が、県民・市民の皆さんに親しまれるよう努力していきます。

マークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



NPO法人 トップス広島

事務局 〒734-0007 広島市南区皆実町2-8-42 猫田記念体育館1F

TEL:082-254-2012 FAX:082-251-5712 E-mail:topshiroshima@gmail.com

<https://www.topps-h.net/>

